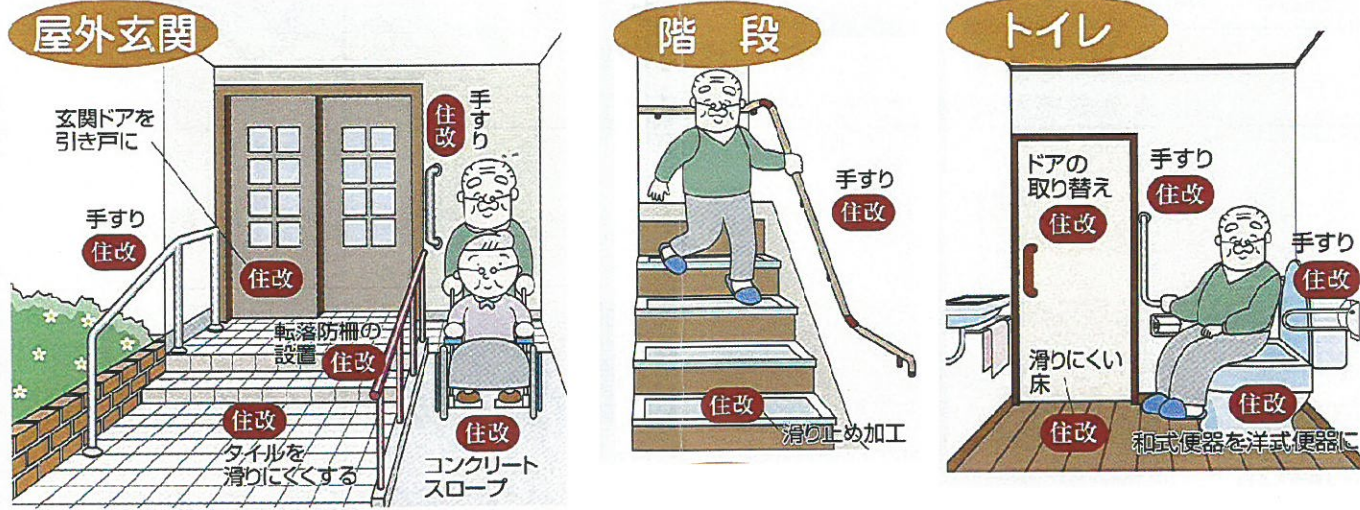


住宅改修について

ご自分の身体状況にあった生活しやすい住環境にすることは、安全に安心して住宅での生活を長く続けるために重要です。住宅改修では、手すり・段差の解消・ドアの改修などを行うことができ、転倒予防の効果があります。



要介護・要支援認定を受けて在宅で生活される方が、自宅で対象となる工事をされ、本人の心身の状況や住宅の状況から必要と認めた場合 支給限度基準額（同一住宅で20万円以内）を上限に工事費の9割が住宅改修費として行政から支給（払い戻し）されます。

※大がかりな工事を行わなくても、置くだけで設置できるレンタルの手すりもあります

ベストポジションバー



天井と床を支持するためどこでも設置できます天井の負担は最小限、和室での設定も簡単

手すりつき屋外ステップ台



置くだけで簡単に設置高い段差を上がりやすくなります

洋式トイレ手すり



便器にしっかりと固定立ち上がりやすくなります

住宅改修・手すりの設置・その他福祉用具の使用など詳しく知りたい方は相談員またはリハビリスタッフにご相談ください。

アンケートにご協力いただいたみなさま ありがとうございました。



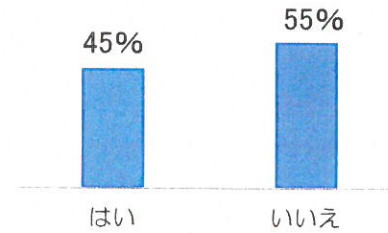
ちゅうりっぴタイムス

社会医療法人三愛会
介護老人保健施設わさだケアセンター

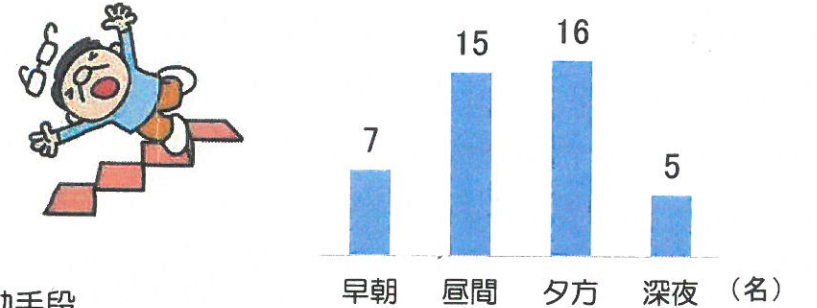
リハビリ部より

秋も深まり、日に日に朝晩の冷え込みが強くなってきました。寒くなると動くことがおっくうになり、身体の動きが悪くなります。身体の動きが悪くなると小さな段差につまづいたり、転倒するおそれが高くなります。リハビリ部では6月上旬にデイ利用者様（91名）へ「転倒」に関するアンケートを行わせていただきました。今回はその結果を報告します。

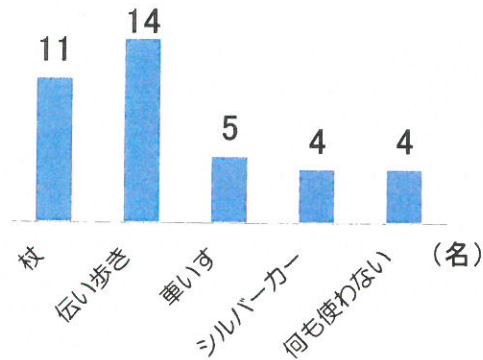
Q1. 自宅で、1年以内に転倒（膝を床につく、尻もちをつく）したことがありますか？



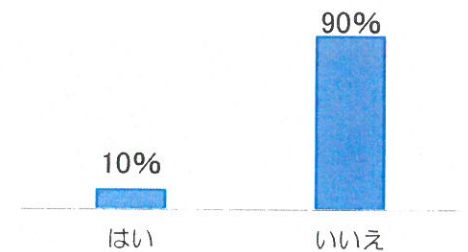
Q4. どの時間帯で転倒しましたか？



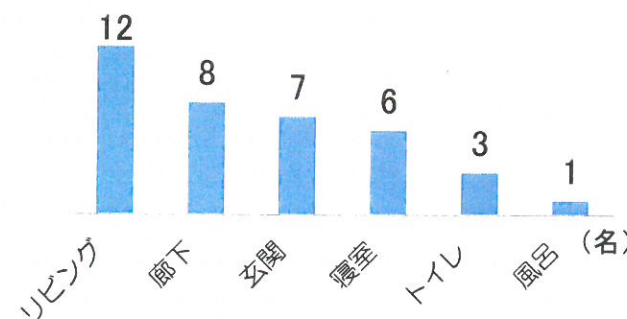
Q2. 転倒したことがある利用者様の移動手段



Q5. 転倒後、何か対策案をとりましたか？



Q3. 自宅のどこで転倒しましたか？



アンケート結果では転倒後に手すりをつけたりするなどの対策をとった方は1割でした。では、どのような対策があるのでしょうか？次のページでは住宅改修例を紹介していきます。

